

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使からの連帯メッセージ

ロシア革命は死んでいない。世界にまき散らされたのだ

2020年11月7日、ロシア十月社会主義革命から103周年となります。この革命は、「ボリシェビキ」と呼ばれる工員を中心とした中産労働者階級の革命としても知られています。革命は300年続いたツァーリによる帝政に終止符を打ち、史上初の共産主義制度であるソビエト社会主義共和国連邦の形成へ道を開きました。ソビエト社会主義共和国連邦を主導したのは、ボリシェビキの革命指導者であるウラジミール・レーニンとレフ・トロツキーでした。

ロシア十月社会主義革命は20世紀を一変させました。1917年10月に起きた出来事は世界に激震をもたらし、世界規模で巨大な影響を与えたからです。人類すべてに関わり、かつ、これは単に一国の必要性ではなく時代の要請なのだとの信念から始まったという点で、十月革命は有史以来の政治的プロジェクトでした。紛れもなく、この革命は多数の国の政党や労働組合にとって、資本主義に代わる新たな制度の模範となつたし、中国やキューバのように他国の革命運動のインスピレーションの源泉ともなりました。

革命とは、進歩に向かい、時代の風景を変え地域の発展リズムを上げることのできる、肯定的な社会の震動です。

昨今、「21世紀の社会主義」を思想モデルとするベネズエラのボリバル主義革命はより盤石となり、ますます多くの支持者を得ています。また、米国政府による攻撃や犯罪的で違法な一方的強制措置にもかかわらず、自国民の幸福を追求し続ける闘いの端的な事例の一つとなっています。

現在のような情勢に直面したベネズエラは、抵抗の国であり、帝国主義の戦争に幕を引こうとする闘いの国です。連帯、協力、相互補完及び社会正義に基づく新たな世界を築くという未来を信じ、希望を抱いています。ボリバル主義革命が擁護する世界は、すべての人民が社会権、人権、並びに雇用、健康、教育、居住、文化及びレクリエーションへの権利を完全に享受しつつ前進することのできる世界です。

このような歴史的背景を踏まえて我が国で近頃創立されたのが、「平和と人民の連帯のためのシモン・ボリバル協会」です。協会の使命は、人民の組織化の基盤として連帯を促進・構築し、世界の均衡が保たれ社会正義のある恒久の平和を築き上げることです。

わたしたちの永遠の司令官はこのように言っています。「ロシア革命は死んでいない。世界にまき散らされたのだ」と。

駐日ベネズエラ・ボリバル共和国大使館
セイコウ - イシカワ大使